

長崎県でとれるブリについて

12月4日(金)

ブリは、アジ科の魚で成長段階に合わせていくつかの名を持つことから、「出世魚」とされています。

魚を食べると健康に良い効果があることが、様々な研究から明らかになっており、その中でもブリには、血液をサラサラにしてガンの予防に効果がある「DHA（ドコサヘキサエン酸）」が多く含まれています。

～ブリの育成から出荷まで～

①種苗を漁獲

しゅびょう

「もじゃこ」とよばれる稚魚（体重3～5g程度）を漁獲して海の大きないけすに入れて育てます。



②大きく成長

魚粉などを原料にしたエサを与え、1年半～2年間かけて育てます。

長崎県はブリを育てるのに適した静かできれいな海域が多く五島や県北地域などで盛んに養殖されています。



③海外にも出荷

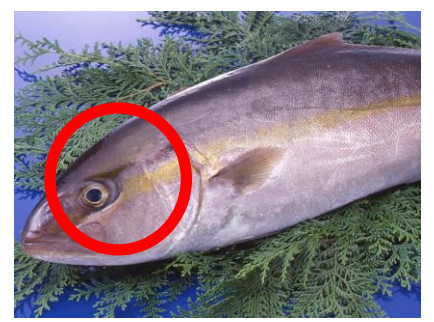
ブリは日本だけでなくアメリカでも大人気です。長崎県産のブリは、海を渡り世界各国に出されています。

～主なブリの仲間たち～

鱚（ぶり）

平政（ひらまさ）

勘八（かんぱち）



体の横にある黄色い線と胸ビレが重ならない

体の横にある黄色い線と胸ビレが重なる

頭に「八」の模様があり体の色が黄色っぽい